

# 目次

挨拶	附属小学校校長	山辺規子
祝辞	奈良女子大学学長	野口誠之
	附属小学校同窓会会長	佐川肇

## 第I部 百年の教育の歩み

### 第一章 草創期の附属小学校

1、創立への経緯	一一
2、創立当初の附属小学校	一二
3、真田主事と分团式教授	一八

### 第二章 学習法の主張

1、木下竹次と学習法の創始	二三
2、合科学習の提唱	二五
3、学習法の主張	二六
4、木下竹次の『学習原論』	三一
5、合科学習の実践	三五
6、当校教育に対する批判	三六

### 第三章 国民学校制の時代

1、国民学校への移行	三九
2、国民学校令下における教育	四一
3、空襲警報の下で	四六

### 第四章 奈良プランの樹立と実践

4、戦後における教育の再建	四八
5、『学習研究』誌の復刊	五四
6、わが校における民主化への歩み	五八
1、武田主事から重松主事へ	六一
2、「奈良での仕事」(重松鷹泰)	六三
3、「奈良プラン」の樹立	六七
4、「奈良プラン」による実践	七一
5、育友会の設立とその活動	八〇
6、学校の雰囲気と子どもたちの変化	八四
7、「奈良プラン」の発展	八五

### 第五章 奈良女子大学文学部附属小学校となつて

1、文学部附属学校としてのあり方の模索	八九
2、教育構造の改善	九〇
3、育友会活動の組織改善	九三
4、デューイ夫人の来校	九五
5、『子どもの解明と学習』	九七
6、『学習研究』誌の白費出版	九九
7、授業観察と記録分析による研究の進展	一〇三
8、「なかよし」による道徳指導	一〇六

### 第六章 学園前に移転してからの附属小学校

1、新校舎建築と移転	一〇九
2、研究・教育実践の経緯	一一〇

『創造的学習の要件』の研究	一一一
『学習法の体得』の研究	一二四
『学習法指導体系（全五巻）』の研究	一三〇
『学習法の新しい展開』の研究	一三〇
『自己学習力を拓く学習法の実践』の研究	一三三
『子どもの自立をたすける学習法（全六巻）』の研究	一三五
『奈良の学習法―総合的な学習』の研究	一三六
『「学習力」を育てる秘訣―学びの基礎・基本―』の研究	一四〇
『確かな学習力を育てるすじ道』の研究	一四二
3、奈良女子大学附属小学校になって	一四四

## 第Ⅱ部 附属小学校開拓期の訓導とその実践

1、木下竹次主事	一五三
2、幾尾純（音楽）	一五四
3、清水甚吾（算数）	一五六
4、神戸伊三郎（理科）	一五九
5、河野伊三郎（国語）	一六〇
6、山路兵一（国語）	一六三
7、秋田喜三郎（国語）	一六五
8、池田小菊（合科学習）	一六七
9、池内房吉（合科学習）	一七〇
10、鶴居滋一（合科学習）	一七二
11、岩瀬六郎（合科学習）	一七四
12、横井曹一（手工）	一七六

13、川口英明（体育）	一七八
14、北井柳太郎（体育）	一八〇

## 第Ⅲ部 出版書籍・雑誌

### 第一章 学習研究・伸びて行く・年史・文集

1、『学習研究』	一八五
2、『伸びて行く』	一八九
3、『わが校五十年の教育』	一九三
4、『七十年史要』	一九四
5、『わが校八十年の歩み』	一九四
6、児童文集『奈良の子ども』	一九六
7、育友会文集『愛眼』	一九六

### 第二章 学習研究会刊行の著書（戦後の出版物）

1、『わが校の教育』	一九七
2、『たしかな教育の方法』	一九七
3、『生活カリキュラム構成の方法』	一九八
4、『正しいしつけ』	一九九
5、『子どもの解明と学習』	二〇〇
6、『教科外活動99の相談』	二〇〇
7、『研究授業99の相談』	二〇一
8、『「なかよし」活動と道徳指導』	二〇二
9、『創造的学習の要件』	二〇三
10、『学習法の体得』	二〇三

11、『学習法指導体系(全五巻)』……………	二〇四
12、『学習法の新しい展開』……………	二〇五
13、『自己学習力を拓く 学習法の実践』……………	二〇五
14、『子どもの自立をたすける学習法(全六巻)』……………	二〇六
15、『奈良の学習法「総合的な学習」の提案』……………	二〇七
16、『学習力を育てる秘訣―学びの基礎・基本―』……………	二〇八
17、『新訂・「奈良の学習法」確かな学習力を育てるすじ道』……………	二〇八

## 第IV部 現在に生きる学習法

### 第一章 平成の学習法

1、私たちの研究動向……………	二一三
2、木下竹次の学習法の理念と現在の学習法とのつながり……………	二一四
3、重松鷹泰と「しごと」「けいこ」「なかよし」……………	二一五
4、『平成の学習法』の構造と広がり……………	二一五
5、学習法を取り巻く環境の変化……………	二一六
6、子どもの自律した学習の姿とは……………	二一七
7、子どもが学ぶ、教師が学ぶ学習法……………	二一七
8、将来に繋ぎたい学習法の真髄……………	二一八

### 第二章 学びの基盤の確立

1、自律的な生活を創る「朝の会」の意義……………	二一九
2、生活と学びをつなぐ「朝の会」の具体……………	二二〇
3、日直や学習係を育てる意義……………	二二一
4、『日記』の必要性……………	二二一

5、『自由研究』で育てたい力……………	二二二
6、『朝の会』と「日記」と「自由研究」の関連……………	二二三

### 第三章 「しごと」学習の目的と展開

1、『しごと』学習と「自由研究」及び、 「しごと」学習と「けいこ」学習の関連……………	二二五
2、今日の「しごと」学習……………	二二六
3、『しごと』学習の教育的意義を問い直す……………	二二二

### 第四章 「けいこ」学習の目的と展開

1、『けいこ』学習でどんな力をつけるのか……………	二三五
2、『けいこ』学習と教科書の関係……………	二三五
3、『けいこ』学習を取り巻く現在の環境……………	二三七
4、独自学習と相互学習のあり方……………	二三七
5、子ども主体の「けいこ」学習と教師の指導……………	三三八
6、『けいこ』学習を進めるための身の回りの環境……………	三三八
7、ノート指導と学習力……………	三三九
8、『けいこ』学習の課題と今後の展望……………	三四〇
9、各分野の指導の実例……………	三四〇
(ア)「けいこ(国語)」(イ)「けいこ(算数)」 (ウ)「けいこ(理科)」(エ)「けいこ(体育)」 (オ)「けいこ(造形)」(カ)「けいこ(音楽)」 (キ)「けいこ(家庭)」(ク)「食育」 (ケ)「国際」、「情報」	

## 第五章 「なかよし」の目的と展開

- 1、「学級なかよし」の育て方……………二四九
- 2、「学級なかよし」、「学年なかよし」の具体的な活動……………二五〇
- 3、「なかよし委員会」、「くらし委員会」の活動……………二五一
- 4、行事で育つ子ども……………二五一
- 5、「グループなかよし」で育つ力……………二五三
- 6、「なかよし集会」の取り組み……………二五五
- 7、「なかよし清掃」のよさと問題点と改善法……………二五六
- 8、一年生と六年生のなかよしで育つ力……………二五六

- 2、歴代文学部長……………四二二
  - 3、歴代附属小学校主事、校長……………四二二
  - 4、現職教職員……………四二三
  - 5、在職教官、教諭一覧……………四二五
  - 6、卒業者数一覧……………四二五
- 編集後記……………四三七

## 第V部 附属小学校の思い出

- 第一章 歴代校長の回想記……………二六一
- 第二章 旧教官、旧教諭の回想記……………二六六
- 第三章 歴代育友会会長の回想記……………二八五
- 第四章 卒業生の回想記……………二九四

## 資料

- 第一章 保存史料目録……………三〇九
- 第二章 育友会、後援会の規約及び組織の変遷……………三四五
- 第三章 略史……………三五四
- 第四章 要覧……………四二二
- 1、歴代校長、学長……………四二二